

# トップレベルのメリット

## 削減義務率の緩和

- トップレベル事業所→削減義務率を 1/2 に緩和
- 準トップレベル事業所→削減義務率を 3/4 に緩和

	区分I	区分II
削減義務率	17%	15%
↓	↓	↓
トップレベル	8.5%	7.5%
準トップレベル	12.75%	11.25%

※削減義務率は第二計画期間のもの

## 環境に優しいことをアピール

トップレベル事業所認証ロゴ



Tokyo Cap & Trade Program

認定事業所のみが使用できるロゴを企業のパンフレット、HP、広報誌などで使用

東京都環境局HPに掲載



東京都のHPに事業所名を掲載。地球温暖化対策が進んだ事業所として広く社会へ発信

テナント・投資家にも



テナント・投資家にも環境に配慮した事業所であることをアピール

# 事業所からの声

省エネ運用が効率的にできるよう大規模改修時や新築時にトップレベル基準を参考にしました。

エクセルツールで入力できるので、思っていたよりも資料作成が簡単でした。

古いビルでしたが、改修工事や省エネ取組で準トップレベルになりました。

トップレベルを目指すことが、省エネへのモチベーションになっています。

トップレベルの評価項目で事業所の省エネ取組を見直すことができました。

この内容は平成30年3月の状況です。

お問い合わせ

トップレベル事業所ウェブサイト

東京都トップレベル



[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/large\\_scale/toplevel/index.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/large_scale/toplevel/index.html)

東京都環境局 地球環境エネルギー部 総量削減課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

相談窓口

TEL 03-5388-3438

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

登録番号 (29) 第95号



# 東京都キャップ&トレード制度 トップレベル 事業所の 認定制度について

東京都環境局



Tokyo Cap & Trade Program



# トップレベル事業所の認定制度について

## トップレベル事業所とは

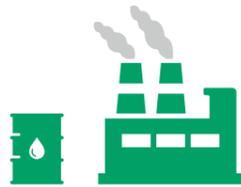
トップレベル事業所とは、東京都キャップ&トレード制度の特定地球温暖化対策事業所において、温暖化対策の推進の程度が優れた事業所として知事が認定した事業所のことです。トップレベル事業所には下記2つの種類があります。

- トップレベル事業所……地球温暖化の対策の推進の程度が「極めて」優れた事業所
- 準トップレベル事業所……地球温暖化の対策の推進の程度が「特に」優れた事業所

※トップレベル事業所の申請は任意ですが、認定されると削減義務率が軽減されます。

## 特定地球温暖化対策事業所とは (トップレベル事業所に申請できる事業所)

3か年度連続して、燃料、熱、電気の使用量が原油換算で年間合計1,500kL以上となった事業所



## トップレベル事業所の種類と数

オフィスビル、商業施設、病院、データセンター、工場、上水道施設など様々

- トップレベル事業所……52事業所
- 準トップレベル事業所……52事業所  
(平成29年度末までの累計認定事業所)

対象事業所  
(約1,200)



## トップレベル事業所に必要な設備と取組

- ①省エネ管理体制の構築
- ②効率の良い設備の導入
- ③省エネの取組と設備の維持



①、②、③に評価項目があり、120点満点に設定

※申請用入力ツール(エクセル)を都で作成しています。



80点以上 トップレベル事業所

70点以上 準トップレベル事業所

# トップレベル事業所の評価内容

※評価項目、評価方法ともに一部抜粋  
※項目数は事業所用途によって変わります。

### 一般管理

評価項目  
**23項目**

- ・CO<sub>2</sub>削減推進会議等の設置及び開催
- ・エネルギー供給設備の運転解析の実施

### 自然エネルギーの利用

評価項目  
**5項目**

- ・自然通風を利用したシステムの導入
- ・自然採光を利用したシステムの導入
- ・再生可能エネルギーシステムの導入

### 建物外皮

評価項目  
**5項目**

- ・屋上緑化の導入
- ・ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入

### 熱源機器

評価項目  
**48項目**

- ・高効率熱源機器の導入
- ・空調用ポンプ変流量制御の導入
- ・熱源機器の点検・清掃

### 空調機器

評価項目  
**60項目**

- ・高効率パッケージ形空調機の導入
- ・居室使用開始時の空調起動時間の適正化

### 照明

評価項目  
**27項目**

- ・高効率照明器具の導入
- ・居室以外の照度条件の緩和
- ・照明用制御設備の作動チェック

#### 評価方法

- ・入居するテナントと削減目標や削減実施計画などを検討する会議について、実施回数を評価
- ・熱源・熱搬送設備の運転解析を行い、効率を把握しているかを評価

#### 評価方法

- ・自然通風を利用している居室が事業所の何%かを評価
- ・太陽光発電設備などを電力換算で何kW導入しているかを評価

#### 評価方法

- ・屋上などが緑化されているかを評価
- ・日射を遮るブラインドの制御方法を評価

#### 評価方法

- ・熱源機器の能力に応じて評価
- ・空調用ポンプに台数制御やインバータ制御を導入した割合を評価

#### 評価方法

- ・空調機の能力に応じて評価
- ・空調機の起動時間を季節ごとに居室の使用時間に合わせて調整している部屋の割合を評価

#### 評価方法

- ・高効率照明(LED、Hfなど)の導入割合を評価
- ・廊下や駐車場などで間引き点灯や調光を実施している割合を評価